

# 奥野泰久議員

瀬戸内、海の道一兆円構想について

議員 瀬戸内海に面した6県による「瀬戸内海プラン推進協議会」が5月31日に設立された。この11月をめどに中・長期計画をつくろうということである。

そこで、笠岡市長として、県当局に対して、県内の観光資源の掘り起こしをして前向きに対応していただくよう提案する考えがあるか。

市長 現在未定なことが多く、今後は協議会の動向について情報を収集し、機会があれば提案していきたい。

市民病院の耐震化について

議員 非常に老朽化した、昭和38年頃に建てられた棟があると聞く。耐震化計画自体、困難が予想されるようであるが、実態をたずねる。

市長 昭和38年度に建築して昭和55年に改修した既存棟、それから、昭和55、56年度に増築したA・B・C棟の4棟が耐震化の対象となっている。既存棟は改築を

視野に入れた総合的な検討が必要であり、A・B・C棟は補強が必要であるとの診断結果である。

土地開発公社の経営状況について

議員 土地開発公社は、公社の判断で金融機関から借り入れをして、市が依頼した事柄について事業を行つてある。金融機関との交渉は適切に執行しているのか。

総務部長

土地開発公社の

借入状況は、平成23年度末現在、2金融機関から21億円の借入残高となつていて、いずれも平成22年3月に借換えをしたが、借換えについて協議した結果、借換えに応じていただけたのは2金融機関となり、借入金額の引き下げや利率の見直し

など、非常に厳しい条件を付けられての交渉結果となつた。その背景には、国の地方財政健全化の施策があるものと考えられる。



## 樋之津倫子議員

母と子、お年寄りに優しい市政を求めて

議員

①子どもの医療費無

料化の対象年齢を中学校卒業まで引き上げることについて、先日の代表質問で、市長は来年度に実施すると答弁された。しかし、お母さん方は、笠岡でも早く実施してほしいと強い願いを持っている。今年度実施の必要性を感じるが、どうか。

②今年から、全ての幼稚園で3歳児を受け入れることになった。しかし、保育室、教室には冷暖房がまだ完備されていない。市内幼稚園での整備が急がれると思うが、どうか。

③今、全ての学区で放課後児童クラブが設置され、利用者が年々増えていると聞く。時間延長や休日保育など、利用者の労働実態に合わせた運営形態を市独自で研究してはどうか。また、子育て応援として、利用料補助を新設してはどうか。

市長 ①子ども医療費の無料化年齢の見直しについては、来年4月から中学3年修了時までの医療費について実施したい。

教育長 ②幼稚園は、保育

時間が比較的涼しい時間帯であること、また、7月後半から8月いっぱいまで休み期間であるため、現在のところ設置していない。

## 水道料金の引き下げについて

議員

水道料金の引き下げ

については、累積欠損金が一番のネックになっていた。今年、累積欠損金がなくなりたわれていた水道料金の見通しだから、公約にもうたわれていた水道料金の引き下げを実施すべきだと思ふが、どうか。

市長 水道事業会計の累積欠損金が平成23年度の決算で解消される見込みとなり、適正な水道料金体系の検討に入る予定としている。

市長 ③時間延長や休日開設については、各児童クラブで、ニーズがどの程度あ

るのか、指導員が働くことが可能なのかを調査した上で検討していきたい。利用料補助については、今後、研究していきたい。

